

科目担当者氏名		科目担当者連絡先 (メールアドレス)	
(ふりがな)	ほりうち まさひろ		
堀内 正博			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
(ふりがな)	まなべ かずし	青山学院大学 総合文化政策学部	
真鍋 一史			
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習	AYGa=110702-0 100702-0	6 名	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

2010 年度が社会調査実習の最初の開講であったが、6 名の受講者が、アンケート調査の設計から、送付・回収、分析に至るまで、それぞれの役割を十分に果たし、社会調査の全体を体験することができた。

II. 調査の企画・設計 (デザイン)

1. 調査のテーマ/領域：

老舗企業についての調査研究/経営学

2. 調査の内容/概要：

「老舗企業」を対象に、その経営スタイルの特徴をヒト・モノ・カネ・経営哲学という視点から、アンケート調査によって分析した。

3. 調査の範囲/対象 (量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入)：

母集団は、創業から 100 年以上続くいわゆる「老舗企業」。サンプリングは、分析目的から、非上場企業で、売上高の大きいものから降順で 2000 社を抽出し、上場企業の子会社、金融機関を除いた 1500 社。

4. 主な調査項目：

重視している経営課題、人事管理の手法、経営成績、変化への対処法、事業継承についての考え方、など。

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集 (現地調査) の方法：

郵送法によるアンケート調査。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

2010 年 8 月に質問票を配布し、同年 9 月に回収。

7. 収集したデータの量と質への評価 (量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入)：

アンケート調査の配布数は 1500 社で、回収社数 330 社。回収率は 21%あり、この種の調査としては高い回収率を実現することができた。設問の仕方については改善の余地があるが、全般的には信頼性の高い

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析/解釈の方法：

記述統計、および因子分析。

9. 調査の成果 (調査から得られた主な知見など)：

老舗企業の形態的特性、経営継承の方策・考え方、老舗企業と同族経営の関係、企業環境の変化への対処に対する考え方、老舗企業における人事管理の特徴、老舗企業の経営特性、などをあきらかにすることができた。

10. 報告書刊行の予定と概要：

報告書はすでに完成している。内容は、「9. 調査の成果」に示した調査の分析結果をまとめる。

< 記入上の注意点 > 1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて (3 つのテーマを立てて実施した場合は合計 3 枚に渡って) ご記入下さい。

2. 最上部の*印の箇所には数字を[*/*]には、報告書が複数枚になる場合のみ、3 枚中の 1 枚目なら 1/3 とご記入下さい。

3. 全ての項目について具体的に記入下さい。但し、1 テーマ毎に印刷が必ず A4 サイズ 1 枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず (設定してある通りにして)、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけたら幸いです。

4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報を DB 化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。